

平成30年度 特別養護老人ホーム「雅」事業計画

基本理念	「安心で心地よい暮らしを支え続けます」
基本方針	ご入居者お一人おひとりの時間と空間を大切に 日々の生活を楽しめるよう支援します。
運営方針 (職員行動指針)	「私たちが大切にすること」 1. 個性を受けとめて、お一人おひとりの尊厳を守ります。 2. 明るく笑顔で、心をこめて寄り添います。 3. 仲間とともに喜び、高め合える職場を作ります。 4. 「いつでも会いたい」に応えられる施設を目指します。 5. 常に地域社会と積極的に交流を実践します。
年度目標	(1)組織を動かす仕組みとルールを見直し、組織強化につなげます。 (2)入居者の声を聴き、思いを受け止めるために人材育成に努めます。 (3)社会福祉法人制度改革に伴う取組を実施できるよう法令遵守に努めます。 (4)社会資源としての役割を果たすため、満床稼働を目指します。

【具体的方策】

(1)組織を動かす仕組み作りとルール化のために

- ・理念、方針を理解し、推進できる旗振り役の中間管理職を育成します。
- ・各部署、他職種連携により、情報共有と相互理解につなげます。
- ・職員の声を聴き、思いを受け止めることで課題の抽出と解決につなげます。

(2)研修体制を再構築し、入居者の生活を守るために

- ・研修計画に沿って、より多くの職員が参加できるよう繰り返し学ぶ機会をつくります。
- ・入居者の声を聴く力、思いを受け止める力を養うコミュニケーション手法を学びます。
- ・入居者の命と心を守るために必要なケアを学びます。

(3)社会福祉法人制度改革に伴う取組を実践するために

- ・社会福祉法人の義務として「地域貢献活動」の取組を行います。
- 「行田市地域包括支援センター壮幸会」と連携し、地域包括ケアの一環として地域の集いの場所「雅サロン」の実施に向け、準備を進めます。
- ・地元自治会に加入し、災害における協定締結を進めていきます。

(4)社会資源としての役割を果たすために

- ・残り1ユニット(10床)をオープンできるように、人材確保に努めます。
- ・待機者確保のため、地域の社会資源として認識してもらえよう雅の情報発信に努めます。
- ・地域から信頼され、選ばれる施設になるための組織を構築します。

※「理念・方針・目標」に向かうための「雅コンセプト」

「笑顔・思いやり・心のつながりを大切に」

ご入居者、ご家族、地域の皆様、職員一人ひとりの尊厳を守るため「陽だまり」のような住まい、環境づくりをしていきます。

平成30年度 各部署・各ユニット目標

部署・ユニット名	担当	年度目標
介護課(1.2階)	フロアリーダー 新井 恵里	ご入居者、ご家族、職員へ気持ちのいい「あいさつ」を心がけ、明るい施設の雰囲気を作ります。
さくら	ユニットリーダー 新井 恵里	ご入居者一人ひとりの生活パターン、残存機能を把握し、できることを見守る介助を実践します。
すいせん	ユニットリーダー 渡邊 実香	職員同士が風通しの良い環境を作り、ご入居者が安心して穏やかに生活していただけるユニットにしていく。
あやめ	ユニットリーダー 田島 薫	ご入居者が安心・安全に過ごせるよう、ご入居者の話に耳を傾け、家族のように気軽に話せる関係を作る。
あじさい	ユニットリーダー 中澤 智美	入居者様一人ひとりに寄り添った、温かみのあるユニット作りを目指す。
ひまわり	ユニットリーダー 塚田 直希	入居者様の生活リズムに合わせた個別ケアと他職種と連携したチームケアを実践していく。
介護課(3階)	フロアリーダー 羽鳥 和伸	「報・連・相」を徹底し、安心して職員が働ける組織作りを行う。働く環境を改善することで入居者様への丁寧な対応ができるよう統一していく。
つばき	ユニットリーダー 渡邊 若菜	入居者様に寄り添い、細かな変化に気づける目配り、心配りができるように職員同士の情報及び意識の共有をしていく。
ゆり	ユニットリーダー 栗木 慎一	ご入居者が安心して暮らせるよう、日々の気づきを大切に体調管理に努める。また危険の予測をすることで事故防止につなげる。
うめ	ユニットリーダー 高 博之	ご入居者が季節感を感じながら、日々の生活を楽しめるようにします。
あさがお	ユニットリーダー 羽鳥 和伸	一人ひとりに寄り添い、生活パターンを把握することで、ご入居者個々が自分らしい生活を送れるよう支援していきます。
看護課	看護リーダー 杉山 純子	終末期の入居者様の家族に対して、適切な時期に面談を組みスタッフ全員がとまどわず、ケアできるよう計画を立てていきます。
栄養課	管理栄養士 新井 充	委託業者と連携を密にし安全かつ質の高い食事提供を目指す。個々の栄養状態を把握し、適切に対応することで栄養状態の維持改善につなげる。算定要件を確認し可能な加算を取得する。
相談課	生活相談員 塩内 日出国	入居者の生活相談や他職種連携を行い、良質なケアを提供する。 入居待機者へのフォローを行い稼働率向上を目指します。
相談課	介護支援専門員 石井 とみ江	入居者の状態把握に努め適切な施設サービス計画書を作成する。他職種及び家族との連携を図り、入居者が安心して生活できる場所にする。
総務課	事務職員 田村 徹也	施設の窓口として、笑顔で対応することを心がけ、ご入居者、ご家族が不安を感じず、信頼していただけるような施設運営を目指します。

平成30年度 特別養護老人ホーム雅 相談課 行動計画書

個人行動目標	施策	行動内容
<p>生活相談員 塩内日出国</p> <p>平成30年度目標</p> <p>1.ベッド稼働率 97%(定員)</p> <p>2.入居申込者の安定した確保</p> <p>※1期・2期 稼働実績 平成28年度稼働率 88.3% 平成29年度稼働率 92.3% 現在待機者 12名(22名中)</p>	<p>1 即入居可能待機者を準備する。 入院空床ベッドのショート利用を増やす。</p> <p>2 こすもすユニットOPEN時の必要人数を確保する。 入院空床ベッドへのショート利用者の紹介獲得。</p>	<p>待機者上位1～3位までの実調・診療情報提供書作成をする 退院予測からロングショート利用を積極的にすすめる。 病院・居宅等医療福祉関係者への案内や営業活動。</p>
<p>介護支援専門員 石井とみ江</p> <p>1.入居者処遇を向上させる</p> <p>2.安心して生活できる場所づくり</p>	<p>1 適切な施設サービス計画書を作成する。</p> <p>2 快適な生活環境の提供や問題の早期解決。</p>	<p>入居者の状態把握に努め、適時見直しを行う。 本人及び家族からニーズや希望を聴く。 家族をふくめ多職種連携を行い、情報共有と会議から問題の早期解決を図る</p>
<p>第3期活動結果</p>	<p>結果らの課題や新たな問題</p>	<p>来期の目標・課題</p>

平成30年度 行事予定・クラブ活動

月	行 事	雅カフェ	クラブ活動
4月	お花見	さくらカフェ	音楽
5月			絵手紙
6月	そば打ち実演		書道
7月	七夕まつり	夏カフェ	絵手紙
8月	雅まつり		音楽
9月	敬老会		絵手紙
10月	運動会	紅葉カフェ	書道
11月	ネイルサロン		絵手紙
12月	クリスマス会		音楽
1月	新年会	新春カフェ	絵手紙
2月	節分(豆まき)		書道
3月			絵手紙

平成30年度 介護課全体 *取組み目標

課 題	対 策	実践目標
①職員教育が不十分	<ul style="list-style-type: none"> * 職能要件書の確認と理解 * マニュアルの確認と活用 * 研修参加者の確保 	<ul style="list-style-type: none"> * 目標管理シート作成と面談 * マニュアルに沿った手順書を作成し対応を統一する。 * 職員研修の時間・回数見直し
②職員不足により勤務調整が厳しく超過勤務シフトになっている。	<ul style="list-style-type: none"> * 離職者を出さない * 欠勤、休職者を出さない 	<ul style="list-style-type: none"> * 職員間のコミュニケーションを図り、働きやすい環境づくり * 体調管理とストレス発散ができるよう休日を活用する
③ケアプランを理解しケアを充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> * 栄養ケア計画書 * 施設ケア計画書 * 口腔ケア計画書 各計画書の確認と活用 	<ul style="list-style-type: none"> * 個別ケアの必要性を理解しその人らしい生活の支援につなげる。 * 適切なケアを統一できるようカンファレンスを実施する。

平成30年度 郷土料理・行事食予定

月	郷土料理	行事食	特別おやつ
4月	愛知県	お花見御膳	誕生日祝いおやつ
5月	○	こどもの日(ちらし寿司)	誕生日祝いおやつ
6月	○	手打ちそば(実演)	誕生日祝いおやつ
7月		七夕そうめん 土用丑の日	誕生日祝いおやつ
8月	○	雅祭り(祭り弁当) お盆(おはぎ)	誕生日祝いおやつ 縁日おやつ
9月		敬老祝い膳・お彼岸(おはぎ) 月見うどん	誕生日祝いおやつ 十五夜まんじゅう
10月	○	運動会弁当 月見丼	誕生日祝いおやつ 運動会の催しおやつ
11月	○	秋の味覚料理	誕生日祝いおやつ
12月		クリスマスランチ 年越しそば	誕生日祝いおやつ クリスマスケーキ
1月		おせち料理 七草粥	誕生日祝いおやつ
2月		節分(恵方巻) にぎり寿司	誕生日祝いおやつ バレンタインおやつ
3月	○	ひな祭り御膳 お彼岸(ぼたもち)	誕生日祝いおやつ ホワイトデーおやつ

※郷土料理は、随時調整ポスター掲示しています。

平成30年度 栄養課取り組み

実施内容	目標と経過
<p>■ソフト食の導入 2017年10月1日にペースト食を廃止し、ソフト食を導入。今後も継続していきます。</p>	<p>導入後、誤嚥性肺炎が減っていると感じています。食事中も咽込みがなく、摂取量も増えています。食事介助に来て下さる家族様からも、「食事介助がしやすく、食べこぼしがなくなった。」「咽こまないで上手に食べられている。」などの評価を頂いています。今後も、ソフト食に変更する必要性の有無を適切に見極め、誤嚥によるADLの低下や入院・退居数を減らしたいと思えます。同時に、引き続き、ソフト食のレベルアップも目指します。</p>
<p>■褥瘡改善 栄養補助食品の使用を取り入れています。</p>	<p>褥瘡委員会での検討を始め、医師や看護師と相談し、必要と思われる方に使用しています。使用する事で、状態の改善や処置が不要になるなどの効果を得ています。</p>
<p>■食事レクの実施 入居者様と一緒に調理し、召し上がってもらいます。</p>	<p>前年度は初めての試みであり、簡単なフルーチェと一緒に調理しました。昔を思い出したのか、皆さんいつも以上の笑顔で、美味しいと召し上がってくれました。目の前で調理された物や自分で調理した物を食べるという楽しさや喜びを感じてもらいたいと思えます。本年度も実施していきます。</p>
<p>■郷土料理や行事食の提供・情報公開 年間の行事食の他、郷土料理も提供しています。その都度、ポスターを作成し、情報公開しています。</p>	<p>年間を通して、様々な行事食と郷土料理を提供しています。提供前には、1Fフロアやユニットにポスターを掲示し、入居者様のみならず、家族様や面会者にもお知らせしています。郷土料理に関しては、提供後、日本列島に提供した料理の写真を貼り、過去の物と含め、「日本列島郷土料理の旅」と題したポスターを掲示しています。今後も行事食や郷土料理を提供する事で、食事を楽しんで頂けたらと思えます。</p>
<p>■口腔ケア加算 毎月、歯科医師より、加算に必要な書類として「口腔衛生管理にかかわる助言内容」を頂いています。「口腔ケア・マネジメント計画書」を付け加え、配布し、介護職員に読んでもらっています。</p>	<p>介護職員の口腔ケアに対する意識や知識を高める事で、口腔ケアのレベルアップを図り、口腔内改善を目指しています。食事前の口腔・嚥下体操を実施する事で、咀嚼・嚥下力の低下と誤嚥を予防できたらと思えます。又、埼玉県歯科医師会から「口腔健康管理と口腔ケア」のDVDを頂いたので、職員対象に上映できる機会を作れたらと思えます。</p>
<p>■給食会議 行事食の連絡、栄養課の取り組み、集計報告(食事形態の変更・栄養補助食品の使用者・水分摂取量・食事介助人数等)、他部署との意見交換等を行っています。</p>	<p>毎月給食会議を開き、食事に関する要望や改善事項などに関して意見交換する事で、低栄養の改善や食事の質の向上を目指しています。</p>